



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘  
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸 TEL 03-3661-1039  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月2日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	42,422	15.7	6,459	21.2	7,949	44.6	6,061	12.3
2024年3月期中間期	36,678	8.8	5,327	△9.6	5,495	6.1	5,396	35.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 9,709百万円 (△13.7%) 2024年3月期中間期 11,254百万円 (39.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	137.51	—
2024年3月期中間期	122.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	158,339	88,567	55.7
2024年3月期	150,533	79,828	52.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 88,268百万円 2024年3月期 79,622百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2025年3月期	—	23.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	13.6	11,000	14.3	11,000	29.2	8,500	9.9	192.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	53,119,190株	2024年3月期	53,119,190株
2025年3月期中間期	9,039,651株	2024年3月期	9,039,354株
2025年3月期中間期	44,079,667株	2024年3月期中間期	44,080,153株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
3. 補足情報 .....	11
(1) 主要製商品売上高 連結 .....	11
(2) 新薬パイプラインの状況 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の売上高は、424億22百万円（前年同期比15.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益64億59百万円（前年同期比21.2%増）、経常利益79億49百万円（前年同期比44.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は60億61百万円（前年同期比12.3%増）となりました。経常利益以下の増益は、売上の増加に加え、ユーロや英ポンドなどの欧州通貨に対するスイスフラン安の進行などに伴い多額の為替差益が発生したことによるものです。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場においては2024年4月に実施された薬価改定の影響などを受け苦戦いたしました。海外市場において北欧などで好調に推移したことや為替の影響もあり、全体では増収となりました。「ディフィクリア」（国内販売名：「ダフクリア」）につきましては、フランス、ドイツ、イギリスなどの国で売上を大きく拡大いたしました。炎症性腸疾患治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）につきましては、カナダで売上が好調に推移したことや為替の影響もあり、売上は伸長いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」は、ほぼ前年度並みとなりました。なお、2024年9月に高カリウム血症治療薬「ビルタサ」の国内における製造販売承認を取得し、販売開始に向けた準備を進めております。

これらの結果、当事業の売上高は、285億44百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

#### ②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、医薬品ヘパリーゼ群・コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに売上が伸長いたしました。植物性便秘薬「ウィズワン群」や、前年度に新製品「プレバリンαクイック軟膏」「プレバリンαクイッククリーム」を発売した皮膚疾患治療剤「プレバリン群」につきましても堅調に推移いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、ほぼ前年度並みとなりました。また、2024年10月発売のヘパリーゼWシリーズの新製品「ヘパリーゼWシャイン」の出荷を9月より開始いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、138億2百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

#### ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は75百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

### （2）当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は1,583億39百万円となり、前連結会計年度末対比78億6百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が646億44百万円で、前連結会計年度末対比68億35百万円の増加、固定資産が936億95百万円で、前連結会計年度末対比9億70百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加40億37百万円、受取手形及び売掛金の増加26億38百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の増加11億47百万円であります。

当中間連結会計期間末の負債合計は697億71百万円となり、前連結会計年度末対比9億32百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が540億50百万円で、前連結会計年度末対比4億68百万円の減少、固定負債が157億21百万円で、前連結会計年度末対比4億64百万円の減少となっております。流動負債の増減は、買掛金の増加5億34百万円、短期借入金の減少31億2百万円、未払法人税等の増加14億30百万円、賞与引当金の減少4億31百万円、未払金の増加等流動負債その他の増加11億円であります。固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少6億7百万円であります。

当中間連結会計期間末の純資産は885億67百万円となり、前連結会計年度末対比87億39百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益の計上60億61百万円、前期末配当の実施9億69百万円、為替換算調整勘定の増加40億1百万円等によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.8%上昇し、55.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比35億64百万円増加し、221億68百万円となりました。これは、主に投資活動によるキャッシュ・フローが11億46百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローが51億30百万円のマイナスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが86億95百万円のプラスであったためであります。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は86億95百万円の資金の増加となりました（前年同期比37億30百万円増）。これは、税金等調整前中間純利益の計上77億51百万円、減価償却費の計上33億86百万円、売上債権の増加16億67百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は11億46百万円の資金の減少となりました（前年同期比10億40百万円増）。これは、定期預金の預入による支出4億30百万円、有形固定資産の取得による支出7億32百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間は51億30百万円の資金の減少となりました（前年同期比28億45百万円減）。これは、短期借入金の減少9億28百万円、長期借入れによる収入10億円、長期借入金の返済による支出40億39百万円、配当金の支払い9億65百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績動向を踏まえ、2024年5月9日発表の通期連結業績予想を修正しております。詳細は、2024年11月5日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,323,724	24,360,950
受取手形及び売掛金	21,249,302	23,887,945
商品及び製品	7,569,173	7,996,409
仕掛品	1,842,077	2,146,182
原材料及び貯蔵品	5,078,508	4,893,344
その他	1,915,485	1,519,339
貸倒引当金	△169,241	△159,675
流動資産合計	57,809,029	64,644,495
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,607,334	6,470,815
土地	12,581,849	12,589,472
その他（純額）	7,328,652	7,737,703
有形固定資産合計	26,517,836	26,797,991
無形固定資産		
のれん	4,262,818	4,039,560
販売権	29,496,467	30,633,074
その他	9,380,420	9,614,991
無形固定資産合計	43,139,706	44,287,626
投資その他の資産		
投資有価証券	9,145,154	8,796,893
退職給付に係る資産	13,410,761	13,274,991
その他	552,538	570,798
貸倒引当金	△41,433	△33,034
投資その他の資産合計	23,067,020	22,609,648
固定資産合計	92,724,563	93,695,266
資産合計	150,533,593	158,339,762
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,273,950	3,808,933
短期借入金	38,283,719	35,180,934
未払法人税等	1,967,210	3,398,017
賞与引当金	1,584,737	1,153,488
その他	9,408,853	10,508,938
流動負債合計	54,518,471	54,050,312
固定負債		
長期借入金	7,943,800	7,335,850
退職給付に係る負債	458,109	507,167
資産除去債務	56,239	56,345
その他	7,728,181	7,822,245
固定負債合計	16,186,329	15,721,607
負債合計	70,704,801	69,771,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	59,254,325	64,345,849
自己株式	△18,265,810	△18,266,437
株主資本合計	59,267,035	64,357,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001,571	1,905,373
為替換算調整勘定	14,660,305	18,661,835
退職給付に係る調整累計額	3,693,650	3,342,907
その他の包括利益累計額合計	20,355,527	23,910,117
非支配株主持分	206,229	299,791
純資産合計	79,828,792	88,567,842
負債純資産合計	150,533,593	158,339,762

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	36,678,404	42,422,617
売上原価	9,631,957	11,409,066
売上総利益	27,046,446	31,013,551
販売費及び一般管理費	21,719,007	24,554,334
営業利益	5,327,439	6,459,216
営業外収益		
受取利息	46,176	120,528
受取配当金	192,672	225,858
為替差益	1,017	1,320,978
償却債権取立益	89,761	—
その他	77,461	124,229
営業外収益合計	407,090	1,791,596
営業外費用		
支払利息	226,110	232,249
その他	12,481	69,188
営業外費用合計	238,591	301,438
経常利益	5,495,938	7,949,373
特別利益		
固定資産売却益	—	2,903
投資有価証券売却益	0	—
契約解除損失引当金戻入額	923,331	—
特別利益合計	923,332	2,903
特別損失		
固定資産除却損	6,336	3,864
投資有価証券評価損	—	196,543
特別損失合計	6,336	200,407
税金等調整前中間純利益	6,412,933	7,751,869
法人税等	1,005,062	1,625,522
中間純利益	5,407,870	6,126,346
非支配株主に帰属する中間純利益	11,093	65,065
親会社株主に帰属する中間純利益	5,396,776	6,061,280

## （中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益	5,407,870	6,126,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,264,461	△96,198
為替換算調整勘定	4,844,478	4,030,007
退職給付に係る調整額	△262,732	△350,742
その他の包括利益合計	5,846,207	3,583,067
中間包括利益	11,254,078	9,709,413
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	11,223,314	9,615,870
非支配株主に係る中間包括利益	30,764	93,542

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	6,412,933	7,751,869
減価償却費	3,031,173	3,386,993
のれん償却額	363,836	356,214
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△562,105	△468,042
契約解除損失引当金の増減額 (△は減少)	△923,331	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17,638	32,285
受取利息及び受取配当金	△238,849	△346,387
支払利息	226,110	232,249
為替差損益 (△は益)	△204,736	△436,150
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	196,543
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,804,465	△1,667,082
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△824,917	△93,461
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,034,301	344,542
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△74,785	△66,069
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	549,034	110,575
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△493,330	△413,269
その他	△82,137	18,212
小計	5,391,092	8,939,022
利息及び配当金の受取額	238,593	346,377
利息の支払額	△216,497	△255,680
法人税等の支払額	△448,416	△334,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,964,771	8,695,150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△125,000	△430,577
定期預金の払戻による収入	125,000	125,000
有形固定資産の取得による支出	△1,395,136	△732,099
無形固定資産の取得による支出	△888,433	△116,966
その他	97,003	8,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,186,567	△1,146,251
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,168,875	△928,550
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,824,420	△4,039,090
リース債務の返済による支出	△160,870	△196,698
自己株式の取得による支出	△323	△626
配当金の支払額	△966,355	△965,969
非支配株主への配当金の支払額	△2,308	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,285,403	△5,130,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,756,142	1,146,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,248,943	3,564,586
現金及び現金同等物の期首残高	16,094,078	18,604,144
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,343,022	22,168,731

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,900,997	12,700,282	36,601,280	77,124	36,678,404	—	36,678,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,958	62	3,020	320,078	323,099	△323,099	—
計	23,903,955	12,700,344	36,604,300	397,202	37,001,503	△323,099	36,678,404
セグメント利益	5,257,968	2,526,140	7,784,109	124,092	7,908,202	△2,580,762	5,327,439

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,580,762千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,544,724	13,802,248	42,346,972	75,645	42,422,617	—	42,422,617
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,457	64	5,521	300,214	305,736	△305,736	—
計	28,550,181	13,802,313	42,352,494	375,859	42,728,354	△305,736	42,422,617
セグメント利益	5,830,595	3,121,985	8,952,580	118,312	9,070,892	△2,611,676	6,459,216

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,611,676千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### （1）主要製商品売上高 連結

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	増減（△）率（%）
1. 医療用医薬品事業	23,900,997	28,544,724	19.4
アサコール	10,097,551	11,254,403	11.5
ディフィクリア	6,545,802	9,889,515	51.1
エントコート	2,447,326	2,630,933	7.5
アコファイド	1,522,454	1,526,589	0.3
その他	3,287,862	3,243,282	△1.4
2. コンシューマーヘルスケア事業	12,700,282	13,802,248	8.7
ヘパリーゼ群	5,190,313	5,877,864	13.2
コンドロイチン群	2,862,851	2,825,598	△1.3
ウィズワン群	612,894	722,551	17.9
その他	4,034,223	4,376,234	8.5
3. その他の事業	77,124	75,645	△1.9
合 計	36,678,404	42,422,617	15.7

## (2) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(2024年11月6日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認	ZG-801/ パチロマーソルピテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディス ペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802/アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認 (ペルー、グアテマラ)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (ベトナム)	Z-338/アコチアミド	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 (シンガポール)	Z-338/アコチアミド	United Italian Trading Corporation Pte. Ltd.	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (コロンビア、 コスタリカ、パナマ、 ニカラグア)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
フェーズⅢ (欧州、米国、カナダ)	Z-338/アコチアミド	Agastra-Lab s.r.l.	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)

## 発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
2024年3~5月 (エクアドル、ドミニカ 共和国、ホンジュラス、 エルサルバドル、チリ)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
2024年9月 (タイ)	Z-338/アコチアミド	Meiji Seikaファルマ	機能性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)